

2013-B					
拠出金・基金の名称		メコン河委員会拠出金			
種別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】メコン河委員会(MRC)					
【所管官庁担当局課・室名】農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
日本とメコン地域間の関係・協力強化に向け、気候変動に対応したメコン河流域の既存灌漑施設の適切な更新を行うため、次の技術支援を行う。					
1. 既存灌漑施設の更新最適化に向けた対策					
<ul style="list-style-type: none"> ・既存灌漑施設の機能診断マニュアル及び更新最適化計画策定に当たっての技術指針の作成 ・モデル地区における実証調査及びMRC灌漑データベースの拡充整備の実施 					
2. メコン河委員会加盟国灌漑技術者の資質向上対策					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成25年度	35,749	436	-	1米ドル = 82円	100
平成24年度	39,762	491	-	1米ドル = 81円	100
平成23年度	46,397	521	-	1米ドル = 89円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<ul style="list-style-type: none"> ・メコン河流域の開発と管理に関する常設の事務所を持つ唯一の国際機関として、関係国・地域及び関係機関相互の調整、協調の場としての役割は大きい。また、地域の持続的開発の基盤となる環境及び水資源管理を扱う機関として、メコン地域における環境や資源の保全、基礎食料の確保を通じた貧困の解消、また政治的な安定に大きく寄与している。 ・流域国(加盟国)による会合や、流域国とドナーの対話の場であるドナー協議会、非公式ドナー協議会を定期的実施し、我が国を含む各ドナーの意見を各プログラム計画や、組織レビューなどの改革に反映させてきており、地域開発におけるプロジェクト実施・調整機能の向上に向けた努力は評価できる。 ・MRC5か年戦略計画(2011～2015年)では、我が国からの拠出事業の内容が包含されており、互いに同じ方向性を持って活動に取り組んでいるところ。 					

【別紙2-B】

担当府省庁名: 農林水産省
担当課室名: 農村振興局設計課海外土地改良技術室
担当官名: 海外企画係
内線番号: 5560
作成年月日: 平成25年8月13日

(任意拠出金毎: 平成24年(2012年))

拠出金・基金の名称:	メコン河委員会 (MRC) 拠出金				
種別	イヤーマーク ノン・イヤーマーク				
拠出先の国際機関名:	メコン河委員会 (MRC)				
【所管官庁担当局課・室名】:	農林水産省大臣官房国際部国際協力課				
【当該任意拠出金の目的・用途等(イヤーマークの場合のみ記載)】	<p>日本とメコン地域間の関係・協力強化に向け、気候変動に対応したメコン河流域の既存灌漑施設の適切な更新を行うため、次の技術支援を行う。</p> <p>1. 既存灌漑施設の更新最適化に向けた対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存灌漑施設の機能診断マニュアル及び更新最適化計画策定に当たっての技術指針の作成 モデル地区における実証調査及びMRC灌漑データベースの拡充整備の実施 <p>2. メコン河委員会加盟国灌漑技術者の資質向上対策</p>				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率 (%)
平成24年度	39,763	491		1(米ドル) = 81円	100.00
平成23年度	46,397	521		1(米ドル) = 89円	100.00
平成22年度	28,750	306		1(米ドル) = 94円	100.00
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価(イヤーマークの場合のみ記載)】	<p>・メコン河流域の開発と管理に関する常設の事務所を持つ唯一の国際機関として、関係国・地域及び関係機関相互の調整、協調の場としての役割は大きい。また、地域の持続的開発の基盤となる環境及び水資源管理を扱う機関として、メコン地域における環境や資源の保全、基礎食料の確保を通じた貧困の解消、また政治的な安定に大きく寄与している。</p> <p>・流域国(加盟国)による会合や、流域国とドナーの対話の場であるドナー協議会、非公式ドナー協議会を定期的実施し、我が国を含む各ドナーの意見を各プログラム計画や、組織レビューなどの改革に反映させてきており、地域開発におけるプロジェクト実施・調整機能の向上に向けた努力は評価できる。</p> <p>・MRC5ヵ年戦略計画(2011～2015年)では、我が国からの拠出事業の内容が包含されており、互いに同じ方向性を持って活動に取り組んでいるところ。</p>				

【別紙2-B】

担当府省庁名: 農林水産省
担当課室名: 農村振興局設計課海外土地改良技術室
担当官名: 海外企画係
内線番号: 5560
作成年月日: 平成25年8月13日

(任意拠出金毎:平成23年(2011年))

拠出金・基金の名称:	メコン河委員会(MRC)拠出金				
種別	イヤーマーク ノン・イヤーマーク				
拠出先の国際機関名:メコン河委員会(MRC)					
【所管官庁担当局課・室名】:農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等(イヤーマークの場合のみ記載)】 日本とメコン地域間の関係・協力強化に向け、気候変動に対応したメコン河流域の既存灌漑施設の適切な更新を行うため、次の技術支援を行う。 1. 既存灌漑施設の更新最適化に向けた対策 ・既存灌漑施設の機能診断マニュアル及び更新最適化計画策定に当たっての技術指針の作成 ・モデル地区における実証調査及びMRC灌漑データベースの拡充整備の実施 2. メコン河委員会加盟国灌漑技術者の資質向上対策					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成23年度	46,397	521		1(米ドル) = 89円	100.00
平成22年度	28,750	306		1(米ドル) = 94円	100.00
平成21年度	29,612	287		1(米ドル) = 103円	100.00
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価(イヤーマークの場合のみ記載)】 ・メコン河流域の開発と管理に関する常設の事務所を持つ唯一の国際機関として、関係国・地域及び関係機関相互の調整、協調の場としての役割は大きい。また、地域の持続的開発の基盤となる環境及び水資源管理を扱う機関として、メコン地域における環境や資源の保全、基礎食料の確保を通じた貧困の解消、また政治的な安定に大きく寄与している。 ・流域国(加盟国)による会合や、流域国とドナーの対話の場であるドナー協議会、非公式ドナー協議会を定期的実施し、我が国を含む各ドナーの意見を各プログラム計画や、組織レビューなどの改革に反映させてきており、地域開発におけるプロジェクト実施・調整機能の向上に向けた努力は評価できる。 ・MRC5か年戦略計画(2011~2015年)では、我が国からの拠出事業の内容が包含されており、互いに同じ方向性を持って活動に取り組んでいるところ。					